

# もりのかぜ Vol.5



森を感じる情報誌——Green Page Akita

緑の募金で  
ふせごう地球温暖化



公益社団法人 秋田県緑化推進委員会

〈CONTENTS〉特集●ツアールの森 森の名手・名人を訪ねる／2 緑育REPORT／4 ボランティア団体を訪ねる／6  
GREEN PAGE AKITA／8 Photographこの一枚／10 あきた・緑化の足跡／11 インフォメーション／12

## 特集 ツアールの森

秘湯として人気の乳頭温泉郷一帯は、周辺のブナ林を散策できるのも魅力の一つです。その散策ルートの一つ、ツアールの森はドイツ大使ツアール氏が絶賛したという豊かな植生と変化に富む景色の森です。



〈特集〉ツアールの森

# 表情豊かなブナの小径



「ツアールの森」は、乳頭温泉郷（鶴の湯温泉、鶴の湯別館・山の宿）の辺りの森で、ブナ、カエデ、ミズナラ、ダケカンバ等の雑木林が生い茂り、溪流、滝など変化に富んだ美しい風景が広がります。かつてドイツ大使のカル・ツアール氏がその豊かな植生と森林風景に、「理想的な散策路」と絶賛したことから森の呼称がついたのです。鶴の湯峡の溪流美や吊り橋、滝、ブナ巨木、展望台など随所に見所があります。また、乳頭温泉郷一帯には「東北自然歩道・新奥の細道」が整備されていますので、温泉を梯子しながら思い思いの散策を楽しむことができるエリアです。



ブナ巨木に抱かれた休憩スポット



鶴の湯峡展望台へ向う道

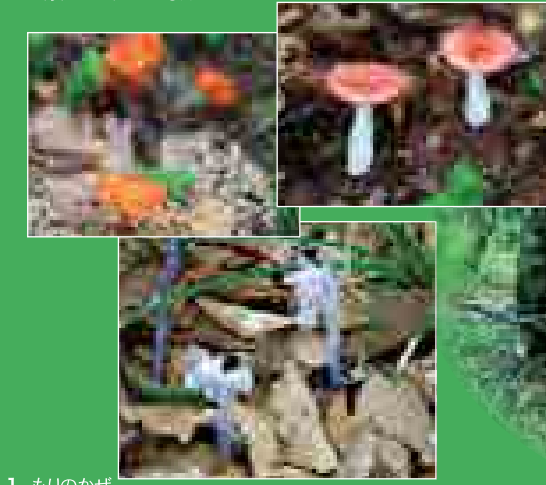


ブナ落葉のクッションが心地良い散策道



## ツアールの森で植物観察

植生豊かなツアールの森では様々な高山植物に出会うことができます。森林浴しながら植物観察してみましょう。





自然の中から生まれてきた道具を鍛える

# マタギの山刀作りを 伝承する唯一の鍛冶職人

## 鍛冶職人

### 西根 登氏

「森の名手・名人百人」の認定・顕彰について

公益社団法人国土緑化推進機構では、平成十四年度から、新たな国土緑化運動の一環として、森を守り、育て、その恵みを活かして持続的に循環していくことの重要性を社会に訴えるとともに、国民の森づくりへの参画を促す運動として「もりのくに・にっほん」運動を展開しており、すぐれた技術を極め、他の技術・技能者等の模範となっている達人を、「森の名手・名人」として認定・顕彰してきました。

### 先代師匠を失った修業時代

西根登さんは、北秋田市阿仁前田の駅前で西根鍛冶店を営む鍛冶職人です。農林業に従事する人のための道具を作る、いわゆる「野鍛冶」と呼ばれる人たちは、農業の近代化や大量生産品の流通で激減し、現在では稀少な存在となっています。

西根さんは中学卒業後、十五歳で父親である先代に弟子入りしました。修業は多くの職人がそうであるように「見て覚える」「見て盗む」ものでした。ところが西根さんが十七歳の時、その師匠(父)が亡くなってしまいます。修業を始めてわずか二年、師を失った西根さんは途方に暮れました。しかし店の跡継ぎは他にいません。自分が一刻も早く一人前になるしか道はありませんでした。それから、おばあさんが次の師匠となり、無我夢中で鉄を打ち続けました。何十回、何百回失敗したか、数えきれなかったそうです。腕が悪ければ店はあつという間に廃れて

しまう、野鍛冶は実力勝負の厳しい世界、西根さんは必死でした。「今から思えば、かえって早く仕事を覚えられたかも知れない」と西根さんは笑っています。が、名人と言われるようになった今でも、「父がしていたのはこういうことだったのか」と気付いたり、もっと色々父の仕事を見ておきたかったと、よく思うそうです。

### マタギの道具を作る

西根さんの住む阿仁地方は、伝統的な狩猟者「マタギ」の本場として知られています。長期間険しい山に入り、時には恐ろしい熊とも対峙するマタギにとって、手にする刃物は武器であり、枝を伐り、穴を掘り、獲物を解体する道具であり、調理用具でもあります。頑丈で使いやすい、何より鋭利であることが求められます。万能ともいえるマタギが使う刃物は「山刀(ナガサ)」と呼ばれ、西根さんも製作していました。

少し以前になります、全国的なアウ



向かって左2本が山刀、中央は鉈。右3本は包丁。山刀は西根さん以外、作る人がいない貴重なもの。

サを作る日々の中で、稔さんの優れた技術を吸収することができ、本当に勉強になったといえます。残念ながら稔さんは二〇〇一年に亡くなりましたが、唯一その技術を受け継いだ西根さんがナガサの製作を続け、四代目として西根正剛の銘で本家に納めています。

### 山が教えてくれる

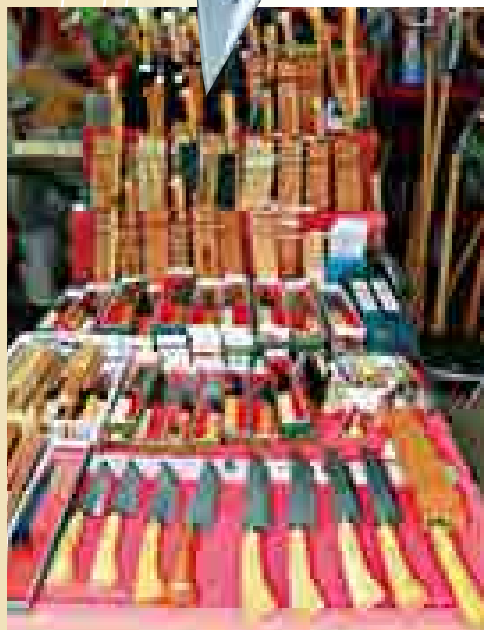
西根さん自身は狩猟をしません、山菜やキノコ採りが趣味でよく山に入ります。山の中で自分が作った道具を使ってみると、どう作ればもつと使いやすいかヒントをもらえることが多いそうです。阿仁地方はマタギに限らず、山を仕事場にする人、日常的に山に入る人たちがたくさん生活しています。そうした人たちがからの要望一つひとつもまた、よいものを作る

ためのヒントになります。「お客さんから教わることも、それも結局は山から教えてもらっていることなんです」と、西根さんは繰り返す。山の大切さを語っていました。丈夫で、よく切れて、使いやすい、いいものを作りたいれば評価され、道具に命を預けるマタギはもちろん、人が人に宣伝してしてくれるといえます。各地の市日や交換会に出店すると、秋田ばかりではなく、青森・岩手・山形といった他県からもお客さんが来てくれます。

「自分を評価して、遠くからでもわざわざ来てくれるお客さんは、みんな山をよく知っている人ばかりです。だから自分も山をよく知らなくちゃいけない。山や緑を大切にしなければいけない。結局私は山によって生かされている人間ですから」。西根さんの言葉には自然への感謝の想いがあふれていました。

〈シリーズ〉  
森の名手名人を訪ねる

命が吹き込まれたかのように  
鋭く光る山刀



西根さんの店舗内の商品群。手技の息づかいが漂う。



店舗外壁の陳列ケース。芸術品のようなオーラを放つ。

西根 登さん

昭和23年森吉町生まれ。(現北秋田市)

西根鍛冶店  
〒018-4513 北秋田市小又字下川原149  
TEL 0186-75-2108 FAX 0186-75-2108



# 緑とともに育つ・育てる

## 《緑育REPORT》

伝統として根づく花いっぱい運動

### 大仙市立太田中学校

美しい自然に恵まれた秋田県では、古くから学校林を中心とした森林環境教育が盛んです。緑にふれることによって、子どもたちの環境への理解を深めるとともに、豊かな人間性を育む……そんなすばらしい教育の伝統をもつ、多くの学校の中から、今回は大仙市立太田中学校を紹介します。



毎年全校を挙げて行う植栽作業

大仙市立太田中学校が「花いっぱい運動」に取り組み始めたのは昭和四十三年度から。同年に全県花壇コンクールで優秀賞を受賞（以後六十三年度まで十三回連続）したのをはじめとして、花いっぱいコンクール（内閣総理大臣賞・昭和五十八年度、全国学校緑化コンクール準特選（緑化推進機構会長賞・昭和六十三年度）、全国花のまちづくりコンクール農林水産大臣賞・平成六年度）受賞など、全国にその名前が知られています。

これは旧太田町が町ぐるみで「花いっぱい運動」を推進していたことから、太田中学校が地域の緑化・美化活動の象徴となっており、生徒の保護者だけでなく、地域住民が積極的に支援してきたとも力になっています。

三十五年にわたって取り組みを続け、数々の栄誉に輝いてきた歴史は、生徒一人ひとりにしっかりと受け継がれています。花

### 継続する交流の輪

太田中は、自分たちが伝統として受け継いできた花づくりを活かし、こころを癒す花の色彩を届けることにしています。被災している人たちに負担をかけないように、プランターで大きく育て、世話の必要のない状態で届けることにしました。そして八月には全校生徒で育てた赤いペゴラのプランター三百個を、地域の人たちの支援を受けたトラック八台で大槌中や大槌地域の仮設住宅に届けたのです。翌年の春には一年生がプランターの回収に行き、再び花を育てて贈ることにしました。花を贈ったらそれでおしまい、ではなく、相手に負担をかけずに継続すること



一人ひとりが一生懸命に植栽します。



壇のデザインは、毎年生徒たちが考えたものから選ばれます。花壇の除草、花の定植は全校生徒、先生方で行いますが、誰ひとり面倒くさがることなく、みんなが笑顔で汗を流します。夏場の水やりは二時間ほどかかる大変な作業ですが、夏休み中も生徒が当番で毎日行っています。

が大切だと考えたのです。花だけでなく、手作りのうちわ、クリスマスカード、新米や干し椎茸、おやきなど、季節に合わせたさまざまな支援を行っています。それらは太田中だけではなく、地域の各小学校やJAなどの団体からの支援も含まれており、今や太田中を窓口とした地域全体の支援活動に発展しています。

ただモノを贈るだけではなく、仮設住宅を訪問して「たまご汁」をふるまったり、グラウンドの清掃といったボランティア活動も何度も実行しています。また学校祭に大槌中を招待して交流を深めるなど、直接支援と交流活動をバランスよく継続しているのも、太田中の生徒たちが被災地支援がど

### 花から生まれた支援活動

この太田中学校の活動にある変化が起きました。それは平成二十三年三月十一日の東日本大震災でした。

震災の三か月後の六月二十一日、太田中の生徒会執行部の四人が、教職員とともに被災地である岩手県大槌町を視察し、縁のあった大槌中学校や避難所を訪問しましたが、がれきに覆われた町の惨状は、生徒たちに大きなショックを与え、また避難者の人たちが大きなストレスにさらされている状況を目の当たりにしました。



無彩色の荒れ地に一際艶やかに輝きを放っていた赤い花

そんな中、移動のバスの車窓から外を見ていた生徒があることに気づきました。がれきの中で二人の男女が片づけをしている光景で、ほうきを手にした女性の背後に小さな赤い花が置かれていました。車内の生徒は思わずシャッターを切りました。一面無彩色の景色の中で、その花の真っ赤な色が強烈な印象を与えたのです。

被災地から帰った生徒たちは、自分たちは何ができるかを話し合いました。その中で、あの「赤い花」が支援のヒントとなったのです。

「そっだ、色のない大槌に花を届けよう！」

うあるべきか、常に話し合い、考えているからです。

被災地の学校には県外から多くの交流の申し出があります。しかし善意の訪問が、かえって当時の辛い経験を思い出させることもあり、大槌中ではそうした申し出の受け入れを制限しているそうです。そんな中で、太田中との交流だけは、途切れることなく続いています。それは、太田中の生徒たちが、被災地の状況や被災者の心情を深く理解し、思いやる心を身につけているからでしょう。

今年も二百五十個のプランターに植えられ、大切に育てられた花たちが、太田地域みんなの思いをのせて被災地に届けられます。



平成二十三年八月二十四日大槌中学校との記念写真  
「命ある今、つなごう思い」と記されている。



みんなが汗を流した成果。見事な花壇





ボランティア団体  
を訪ねる  
【第5回】



# 「山の森」「海の森」、二つの森を守り育てる NPO法人白神ネイチャー協会

白神ネイチャー協会は平成十一年五月の設立で(平成十六年十二月にNPO法人化)、県内の緑化ボランティア団体としては早くから活動を開始しています。植樹活動以外に、様々な自然体験プログラムの受け入れも行おうなど、自然との係わりが深い同協会の活動を紹介します。



100名近い会員を有し、遠くは沖縄からも駆けつける。

## 豊かな「二ツ森」の再生を願って

同協会のある八峰町八森は間近に白神山を仰ぎ見る海辺の町です。有名な民謡「秋田音頭」で「秋田名物八森ハタハタ」と歌われるように、古くからハタハタ漁の盛んな町として知られてきました。山には白神山世界遺産地域を見渡せる「二ツ森」があり、海には冬にハタハタが押しよせる同じ名の藻場「二ツ森」があります。元来ブナ林であった世界遺産地域に隣接する真瀬川上流域や泊川上流域にブナの森づくりをして「山の森」を甦らせ、磯焼けなどで環境が悪化した「海の森」(藻場)の再生をしようというのが、同協会設立の趣旨でした。

## 植樹ボランティア

平成十二年からは、現在も続くメイン活動である「植樹ボランティア」を開始しました。これは、毎年秋に全国から植樹ボランティアを募集して、ブナを主体とした広葉樹の植樹を行い、ボランティア同士の交



流を深めるイベントです。年によって異なりますが、毎回百五十名前後の人たちが全国から集まります。その過半数が県外からの参加で、遠い所では関西、九州、沖縄などから駆けつける方もいるそうです。毎年参加される方の話では、植樹はちよつど秋の紅葉の時期なので、毎年微妙に彩りが違う山を見るのが楽しみだということ。もちろん、植樹後に地元漁協婦人部の手でふるまわれる特製つみれ汁も大好評です。



植樹に使用する苗は、会員が育てたもの。「100年後のブナ林」に想いを馳せて育苗する。



植樹から10年連続で手入れすることによって、立派な木に育つ

育てたものが続いているとうまく育たないということで、他の地区で育てた苗も混ぜるなどの工夫をしているそうですが、「結果が表れるのは百年後」という、何とも壮大な話です。

## 「白神の窓口」を務める

白神ネイチャー協会には、他の緑化ボランティア団体とは異なる特徴が二つあります。まず一つは、植樹した広葉樹を、その後十年連続で手入れをするということです。二、三年連続して手入れした後、数年おきに下刈りなどの手入れをする程度が普通ですから、会員たちがいかに熱心に取り組んでいるかが分かります。

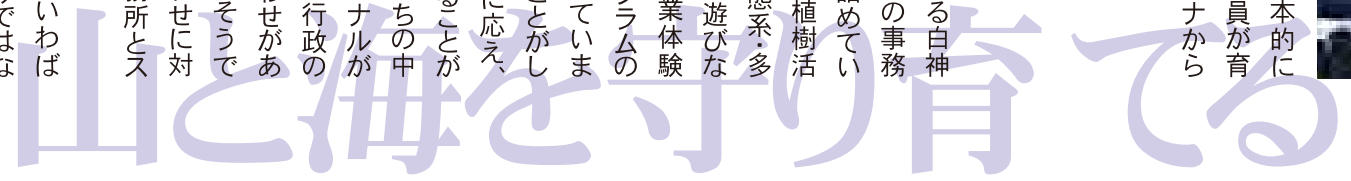
もう一つは、専任の事務局と常設の事務所を持っていることです。事



お問い合わせ先  
NPO法人白神ネイチャー協会  
〒018-1263  
山本郡八峰町八森字三十釜 133-1  
(ふなつ)ランド内 白神ふれあい館  
TEL 0185-704-2111  
FAX 0185-704-2114  
(E-MAIL) as@shirakami.or.jp  
http://www.shirakami.or.jp/astna/

務所はぶなつランド内にある白神ふれあい館の中にあり、専任の事務局員が冬季を含めて毎日詰めています。白神ネイチャー協会は植樹活動以外にも、自然観察や生態系多様性に関するプログラム、川遊びなどの一般的な野外活動、林業体験など、様々な自然体験プログラムの受け入れ、講師派遣を行っています。山で、川で、海で、こんなことがしてみたいという問い合わせに、適切な人材を紹介・派遣することができるのは、百名近い会員たちの中に農林漁業のプロフェッショナルが多数参加しているからです。行政の方でも、自然体験の問い合わせがあると、協会に相談してくるそうです。そうした日々の問い合わせに対応するためにも、常設の事務所とスタッフが必要なのです。

白神ネイチャー協会は、いわば「白神の窓口」。植樹活動だけではなく、広く自然と係わりをもったボランティア団体なのです。





# 田沢湖 周辺エリア 森林浴・秋田

日本一の水深を誇る田沢湖を中心としたエリアは東北有数のアウトドアスポット。森林浴、キャンプ、ウォータースポーツ、トレッキング、温泉巡り、体験・見学施設など多彩に楽しめる自然体験ゾーンです。

湖を望む二つの森林公園



森林浴

**楽しく遊びながら学べる  
かたまえ山森林公園**  
この地域の山村生活やマタギ文化を学べる「山の幸資料館」や「炭焼き体験窯」があります。コテージ、バンガロー、テントフリーサイトなどの施設も充実。田沢湖を眺めながら森林浴でリフレッシュしましょう。

森林浴



**樹木や野鳥観察でリフレッシュ  
県民の森**  
田沢湖を見下ろす丘一帯に市町村の木・県の木・世界の木のコーナーや野草園、ハイキングコースが設けられています。憩いの場として、林業研修の場として活用されています。

## 森と湖の里でいっしょ

緑に浸る  
湖畔のキャンプ場  
**田沢湖**



ぐるり田沢湖  
名木との出会い



**ほろい  
蓬菜の松**  
幹周300cm、推定樹齢200年のアカマツで田沢湖の名所の一つになっています。他に湖周囲には、「御座石の杉」、「カッパ淵の松」があります。ぜひ訪ねてみてください。

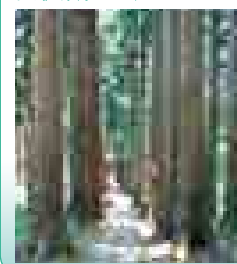
**田沢湖オートキャンプ場**  
「縄文の森たざわこ」  
バンガローやテントサイトが充実。グラウンドゴルフやレンタル自転車を楽しめます。  
TEL0187-58-0666



体験

**ハーブに包まれてクラブ体験**  
田沢湖ハーブガーデン・ハートハーブ  
ハーブの庭園、温室、レストラン、入浴が楽しめるほか、その場で申込OKのクラブ等の体験、予約制の体験など、メニューが盛り沢山。TEL0187-43-2424

田沢湖から足をのびして名木を訪ねる



**金峰神社のスギ並木**  
718年創建と伝わる金峰神社。その参道・約150mにわたり両側に樹齢400年以上のスギが林立しています。県指定天然記念物。  
■田沢湖線神代駅より車で15分



「山の案内人」がガイドする秋田駒ヶ岳トレッキング  
※開催日・お申込等についてはお問合せください。  
アルバこまき  
TEL0187-46-2101

**駒ヶ岳登山の交通拠点施設**  
アルバこまき

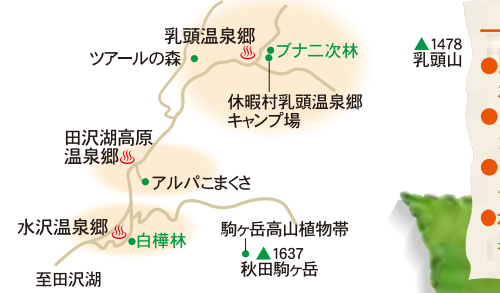
田沢湖を一望できる温泉館と「秋田駒ヶ岳火山防災ステーション」、「秋田駒ヶ岳情報センター」の情報・展示コーナーからなり、駒ヶ岳のマイカー規制の交通拠点施設にもなっています。

アウトドア



**休暇村乳頭温泉郷**  
キャンプ場  
ブナ林に囲まれた施設の充実したキャンプ場。その広さは秋田県内でも屈指。最盛期には800人以上が利用します。  
TEL0187-46-2244

豊かな自然に包まれてアウトドア  
**田沢湖高原**



**田沢湖周辺**  
体験

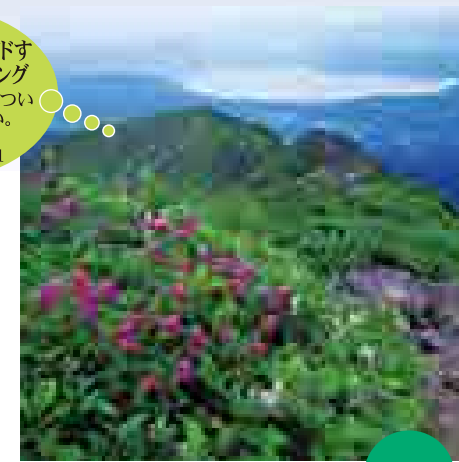


**大自然の中の  
アートヴィレッジ**  
森林工芸館  
たざわこ芸術村の中にあり木工品や陶芸品などの手作り体験ができます。また「エコニク農園」では、有機肥料だけで育てたブルーベリー摘み取り体験(7月~8月上旬)ができます。  
TEL0187-44-3333



絶景の渓谷美の道をハイキング

**抱返り溪谷**  
奇岩、急流、大小の滝など絶景が続く道は、東北の耶麻溪と呼ばれる景勝地として知られています。玉川のコバルトブルーの渓流と樹木の彩りが織り成す景観は新緑・紅葉とも見事です。角館駅より車で約10分。抱返り神社から出発します。



**高山植物の宝庫**  
秋田駒ヶ岳

八合目登山口まで登山バスがあり、気軽に登山できます。山頂一帯は国の天然記念物として「秋田駒ヶ岳高山植物帯」に指定されています。

登山

名湯三昧のエリア

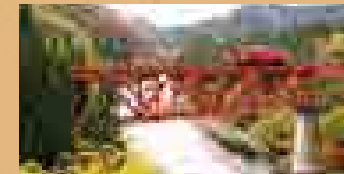
- 玉川温泉 / 湯治や岩盤浴のメッカとして名高い日本一の酸性湯
- 乳頭温泉郷 / 源泉の違う七湯から成る秘境の温泉郷
- 田沢湖高原温泉郷 / 秋田駒ヶ岳を控えたリゾート型の温泉郷
- 水沢温泉郷 / 湯は乳白色の硫黄泉など、皮膚病や糖尿病に効果
- 夏瀬温泉 / 掛け流しの天然温泉癒しの宿
- 温泉ゆぼぼ / たざわこ芸術村内の温泉
- 西木温泉クリオン / pH9.4のアルカリ性単純温泉
- 角館温泉花葉館 / 国道46号沿いの温泉宿泊施設

トレッキング



足をのびして

のんびり車窓の旅



**秋田内陸線**  
秋田県の内陸を走る角館から鷹巣までの94.2km。車窓からは「日本の原風景」と称される景色が広がります。季節に合わせたイベント列車も運行しています。イベント列車のお問合せ / TEL0186-60-1111 (秋田内陸線旅行センター)

紙すき体験

**鎌足和紙**  
カタクリ群生地として知られる鎌足・八津集落は古くから和紙作りが盛んな地でした。秋田内陸線八津駅近くの「かたくり館」では和紙作り体験ができます。お問合せ / TEL0187-47-3535

紙すき体験



エリア内のお問い合わせ

仙北市田沢湖観光情報センター【フレイク】  
JR田沢湖駅内 8:30~18:30 (17:30までの場合あり)  
TEL0187-43-2111 FAX0187-43-2077  
http://www.tazawako.org

仙北市観光情報センター【角館駅前蔵】  
JR角館駅前 9:00~18:00  
TEL0187-54-2700 FAX0187-54-1755  
http://www.kakunodate-kanko.jp/

**おすすめ 日帰りプラン**  
町内会・老人クラブ・各種会合などにおすすめ

**お料理 3,000円~**

1泊2食付 8,550円~  
泉質・効能 アルカリ性単純温泉 pH9.4(強アルカリ性)  
慢性疲労・腰痛・神経痛・坐骨神経痛・筋肉痛・高血圧症・動脈硬化症ほか

日帰り入浴 宿泊 宴会 お食事

**西木温泉 ふれあいプラザ クリオン**  
TEL014-0515 仙北市西木町門屋屋敷田83-2  
http://www.kurion.co.jp Tel.0187-47-2010

寛ぎの湯  
憩いの時を  
心尽しの宿で

角館温泉 かようかん  
**花葉館**

◆施設/宿泊/宴会場/レストラン/温泉/日帰り入浴/グラウンド・ゴルフ場 完備  
TEL0187-55-5888 FAX0187-53-3337  
お問合せは 仙北市角館町西長野古米沢30-19 周遊MAP②



あきた  
緑化の足跡



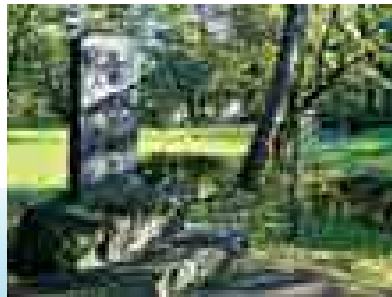
植樹跡地に生育する樹木と  
記念石碑(写真左端)

昭和61年5月16日

第37回秋田県植樹祭開催地——大仙市払田真山公園《大仙市》

昭和61年の第37回秋田県植樹祭は、仙北町(現大仙市)の払田真山公園で開催されました(式典会場は仙北町民体育館)。メインテーマは「広げよう 史跡の森に 緑の輪」。

当日は佐々木喜久治知事、大山喜八郎仙北町長(いずれも当時)の他、約1000人の人々が集まり、ペニヤマザクラ、ソメイヨシノ、ハウチワカエデ、ヤマモミジ等1000本が植樹されました。会場跡地には、植樹祭を記念した立派な石碑(揮毫は佐々木知事)が残されています。



植樹祭記念の石碑

メインテーマに「史跡の森」とあるように、真山公園は国の史跡に指定されている払田柵(ほったのさく)跡の一角にあります。

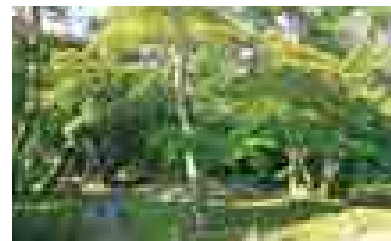


払田柵・外柵南門

払田柵は平安時代の城柵遺跡で、大規模な軍事・行政施設だったようですが、不思議なことに文献史料にその名がなく、謎の多い遺跡です。そのため河辺府説、雄勝城説、第二次雄勝城説など、これまでさまざまな説が立てられ、いまだに論争が続いています。また、多数の木簡(文字を書くための短冊状の板)が発見され、日本の木簡研究はここから始まったとさえ言われています。

真山公園内には大仙市指定文化財の「姥杉」や、公園入口付近に東北三大地主として知られる池田家の旧払田分家庭園(国の名勝指定)があります。

復元された巨大な外柵南門をシンボルとして、よく整備され、見所も多い払田柵跡地。県の埋蔵文化財センターも隣接しており、見学・学習を兼ねたピクニックに出かけられてはいかがでしょうか。



旧払田分家庭園



大仙市指定文化財 姥杉



真山公園・遠景

Photograph  
この一枚

真山寺の  
乳イチョウ

【仙北市西木町】

旧西木村小山田集落にある真山寺の境内木で、推定樹齢六百二十年、樹高四十二・二m、幹回り七・六mという、県内でも有数のイチョウの巨木です。  
枝から多くの気根(乳状下垂)が垂れ下がり、それが女性の乳房を連想させることから、この木に願かけをすると母乳がよくでるとして、古くから「乳イチョウ」と呼ばれて信仰の対象となっています。また、弘法大師

(空海)が地面にさした杖が根づいたものだという伝説もあり、「大師様さかさ杖のイチョウ」という異名もあります。  
根の周囲は円盤状の腐葉土に囲まれています。永年にわたってお寺が落ち葉を掃き集めたもので、根が踏み固められることを防いでいます。大切に手入れされているだけあって、樹勢は旺盛で実に見応えがあります。(県指定天然記念物)



秋田県東瀬村

栗駒国定公園・焼石連峰の山懐  
源泉掛け流しの名湯、  
「やまゆり温泉」が誕生しました。

四季折々美しい大自然の中で  
森林浴や登山など存分に楽しみながら  
名湯「やまゆり温泉」で至福の時を  
お過ごし下さい。



\*pH9.8の強いアルカリ性単純硫黄温泉  
お肌がツルツルになる美肌の湯です。  
湯治にもご利用下さいませ。

仙人郷 やまゆり温泉 ホテルプラン 〒019-0803 秋田県雄勝郡東瀬村橋川字柳沢39-7 TEL.0182-47-3104 FAX.0182-47-3107

美肌の湯、癒しの湯  
やまゆり温泉





もりのかぜ・ねっと

# INFORMATION



緑の募金大使「森っち」

## こんな活動をしています。

### 山火事用心

緑の募金で fuseごう地球温暖化 (株)秋田県緑化推進委員会

### 地域緑化活動支援

市町村等が行う緑化イベントへの支援

### 森林ボランティア育成

スタンプラリー、活動支援、リーダー養成

ダイードリンク(株)では、環境貢献として飲料自動販売機による「緑の募金」活動に協力しております。

### 「緑の募金自販機設置」のお願い

新規設置の自動販売機が対象です。設置、ご紹介の協力をお願いします。

### 目印はこのパネル!!

この自動販売機の収益金の一部は、「緑の募金」に寄付されます。



## 緑化推進委員会の主要事業

### 「緑の募金」運動の推進

緑の募金運動を広く展開し、それを主な原資として次のような事業を推進しています。



緑の募金 シンボルマーク

### 緑化思想の啓発

チラシ、看板、キャンペーン、機関誌発行、緑化関係表彰

### 県民参加の森づくり推進

森林祭等開催、市民グループ森林づくり活動支援



2013あきた水と緑の森林祭

### 名木・古木等の保護

診断、調査の支援

国土緑化運動 国土緑化推進機構連携、東日本大震災被災地支援、公募事業

### 国土緑化運動

国土緑化推進機構連携、東日本大震災被災地支援、公募事業

緑の少年団等による緑の募金活動

### 緑の少年団等育成

交流会、学校緑化コンクール、活動支援、学校緑化、子供木づかい体験(つみ木のプレゼント)

### 緑化表彰

各種緑化功労者、学校緑化コンクール等の表彰

### 公募による緑化活動の支援

国土緑化推進機構及び県緑推の公募による緑化活動の推進

秋田県緑化推進委員会は、国土緑化推進機構・各都道府県緑化推進委員会と連携し、緑の募金による東日本大震災被災地のみどりの再生支援を行っています。

## TOPICS

自然とふれあいながら、仲間づくり。充実した2日間!!

### 平成25年度 秋田県緑の交流集会

■開催日/2013年8月21日(水)～22日(木) ■主催/秋田県、(公社)秋田県緑化推進委員会 ■参加団体/湯沢市立秋ノ宮小学校、八峰町立水沢小学校、ボーイスカウト秋田31回カブ隊、子どもエコクラブハッピーハッピー、マックスバリュ東北 秋田イオンチアーズクラブ

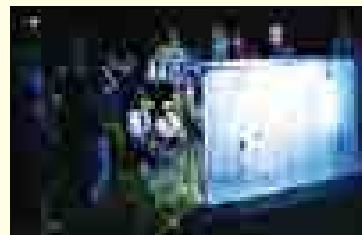
5団体38名(児童32名、引率者6名)が参加した緑の交流集会、始めは緊張していた子どもたちも、ネイチャーゲームやクラフト、自然体験活動等を通じて初対面の仲間とも打ち解け、協力し合う喜びを感じていきました。また、自然にふれあいながら学んだことも楽しい思い出となり、また参加したいとの感想が多数寄せられました。



活動発表



森のクラフト「フラワーポット」作り。焼き目を入れて完成です。



自然観察「昆虫の世界」。ライトトラップという方法で昆虫を集める。



森の散策「宝探し・スタンプラリー」。協力し合って宝箱を探し当てクイズに答えて行く。



「森の地図」製作。班ごとに協力し合って完成。

### 子どもたちの感想

●私は、今回の緑の交流集会で自然についてたくさんのお話を学びました。絶滅しそうな動物のことや虫の生態について、初めて聞くことも多かったです。自分たちで守ってあげなければいけないと思いました。良い体験が出来て良かったです。来年もまた来る事が出来れば来たいです。

●私は、緑の交流集会に参加してとても楽しかったことは、自然観察の「森の地図」です。みんなが協力して、家やスギの木を描くのが一番心に残りました。次に、印象に残ったのは、自然観察の「森の散策」でやった宝探しゲームです。宝箱を発見して、○か×の方にスタンプを押すところが、とても楽しかったです。森のクラフトで、釘を打ってお花を入れるものを作れたの

で、家で早速使ってみました。夜に森を散策した後にすこい虫に刺されて、かゆかったけれどいろいろな昆虫が見られたので良かったです。また、違う小学校の子と友達になれ、すごくうれしかったです。同じ部屋の子とも、親友になりました。なので、また来年もやりたいなと思いました。

●木の名前や昆虫の名前を、知られて良かったです。今日の話を活かして、家の周りにある木や虫を家の人に教えたいと思います。とても森の散策が楽しかったです。またやりたいです。蚊がかたくさんいて、すごく刺されました。かゆくなりました。このことから、森の中は、油断できないと思いました。最後の地図は、協力できて良かったです。機会があれば、出来ればまた参加したいです。

## MEMO

- 4月27日(土) ●秋田駅前「緑の募金街頭キャンペーン」開催
- 5月 9日(木) ●農林中央金庫秋田支店が、募金や緑化活動の支援グッズとして「花の種」を寄贈
- 6月 7日(金) ●秋田県信用組が、「森林再生支援定期積金」による寄附金を寄贈
- 6月21日(金)～23日(日) ●福島県で開催された、北海道・東北地区森づくり活動コーディネーター養成ブロック研修に3名参加
- 6月28日(金) ●(株)NTTドコモ東北支社秋田支店が、「2013あきた水と緑の森林祭」への協賛金を寄贈
- 7月 6日(土) ●大館市田代スポーツ公園で、「2013あきた水と緑の森林祭」を開催
- 7月 9日(火) ●「緑の少年団表彰審査委員会」で秋ノ宮小学校の子隊が、みどりの奨励賞を受賞

- 8月 2日(金)～4日(日) ●北海道で開催された「緑の少年団交流大会」に秋ノ宮小学校の子隊が参加(全国代表)
- 8月12日(月) ●森の名手・名人に、4名の方が選定された。由利本荘市 阿部重助(造林手) 秋田市 齋藤國男(漆芸工業) 能代市 三熊新一(銘木製材業) 三種町 田中隆一(原木しいたけ栽培)
- 8月21日(水)～22日(木) ●秋田市河辺の森林学習交流館で、「秋田県緑の交流集会」を開催
- 9月26日(木) ●全国学校関係緑化コンクールへ、県で知事賞を受賞した学校林活動の部で湯沢市立秋ノ宮小学校、学校環境緑化の部で大仙市立太田中学校を推薦
- 10月4日(金) ●秋田市河辺岩見で、「中通小学校育樹体験」を開催

## もりのかぜ

Vol.5

編集・発行

平成25年10月1日(火)発行

公益社団法人 秋田県緑化推進委員会  
〒010-0951 秋田山王5丁目7-6 林泉会館内  
TEL018-883-0815 FAX018-883-0816  
[Eメール] akiryoku@estate.ocn.ne.jp  
URL http://www6.ocn.ne.jp/~akiryoku/

制作

有限会社 バレア

〒010-0951 秋田山王7丁目5-10  
TEL018-896-7225 FAX018-883-0004

## 編集後記

この夏は日本各地で最高気温が連日のように更新され、どうなるかと思っていたら、あっという間にコスモスも盛りを過ぎ、朝晩は肌寒く、紅葉のニュースを聞くようになってきました。確実にうつろう季節に、自然の奥深さを感じずにはいられません。一方で「かつて経験したことのない」数十年に一度という集中豪雨が各地を襲って土砂崩れなどの被害をもたらす、突風や竜巻の発生、また日本を直撃する台風も多く、何かとつてもなく大きな自然の変化が起きているような気がします。被害の深刻さを見るにつけ、地球の温暖化を防止し、緑の地球を取り戻さなければとの思いに駆られます。それにしても今年は天気にたたられました。春のキャンペーンは雨と寒さにたたられ、森林祭も雨でした。そんな中、緑の交流集会だけは前後の雨をものともせず、バッチリ晴れて、子どもたちが喜んでくれたのがハイライトでした。(T・Y)

## みんなが森林の応援団!! 緑の募金

への協力と森林づくりへの参加をお願いします。 ■緑の募金は、地域の環境緑化活動や森づくり活動への支援に使われます。



### 募金期間

春季 4月10日～5月31日  
秋季 9月1日～10月31日

実施主体/(公社)秋田県緑化推進委員会  
市町村・市町村緑化推進委員会

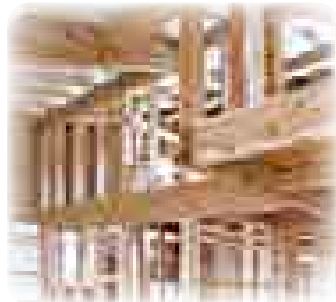
### 緑の募金でふせごう地球温暖化



住宅の新築やリフォーム、木製品の  
購入等を検討されている皆様へ!!

# 木材利用ポイント事業 実施中!!

今なら地域材を利用した家づくりや木質ペレットストーブ等を購入すると、  
地域産品等と交換できるポイントがもらえます。



地域材の利用は、森林の保全、地球温暖化の防止に貢献し、地域の振興にもつながります。

木造住宅を建てると最大60万ポイントがもらえる!!  
ペレットストーブ購入で最大10万ポイント!!

**1pt = ¥1** (1ポイント1円相当)

## ポイントの付与対象とポイント数

- |                                |            |
|--------------------------------|------------|
| ①木造住宅の新築・増築又は購入                | 30万ポイント    |
| ②住宅の床、内壁及び外壁の木質化工事             | 上限 30万ポイント |
| ③木材製品及び木質ペレットストーブ・<br>薪ストーブの購入 | 上限 10万ポイント |

詳しい内容の  
問い合わせ先

木材利用ポイント事務局 <http://mokuzai-points.jp>

電話番号 0570-666-799 / 03-6701-3270 (PHS、IP電話) ※受付時間 9:00~17:00

秋田県内での  
問い合わせ先

秋田県木材利用ポイント振興協議会(秋田県木材産業協同組合連合会)

電話番号 018-837-8091 (住宅に関する問い合わせのみ)